



ひなん
「避難」って
何すれば
いいの？

小中学校や公民館に行くことだけが避難ではありません。「避難」とは「難」を「避」けること。下の4つの行動があります。



行政が指定した避難場所への立退き避難

自ら携行するもの
・マスク
・消毒液
・体温計
・スリッパ 等

小・中学校
公民館

安全な親戚・知人宅への立退き避難

普段から災害時に避難することを相談しておきましょう。

※ハザードマップで安全かどうかを確認しましょう。

親戚・知人宅

安全なホテル・旅館への立退き避難

通常の宿泊料が必要です。事前に予約・確認しましょう。

※ハザードマップで安全かどうかを確認しましょう。

ホテル
旅館

屋内安全確保

ハザードマップで以下の「3つの条件」を確認し自宅にいても大丈夫かを確認する必要があります。

想定最大浸水深

※土砂災害の危険がある区域では立退き避難が原則です。

ここなら安全！

普段から
どう行動するか
決めておき
ましょう

台風など大雨や強風による災害が多く発生する季節です。日頃から「もしものとき」に備えて準備・確認をしておきましょう。

「3つの条件」が確認できれば浸水の危険があっても自宅に留まり安全を確保することも可能です

① 家屋倒壊等氾濫想定区域に入っていない (入っていると...)

流速が速いため、木造家屋は倒壊するおそれがあります

地面が削られ家屋は建物ごと崩落するおそれがあります

② 浸水深より居室は高い

3・4階	5m~10m未満 (3階床上浸水~4階軒下浸水)
2階	3m~5m未満 (2階床上~軒下浸水)
1階	0.5m~3m未満 (1階床上~軒下浸水)
1階床下	0.5m未満 (1階床下浸水)

③ 水がひくまで我慢でき、水・食糧などの備えが十分 (十分じゃないと...)

水、食糧、薬等の確保が困難になるほか、電気、ガス、水道、トイレ等の使用ができなくなるおそれがあります

※①家屋倒壊等氾濫想定区域や②水がひくまでの時間(浸水継続時間)はハザードマップに記載がない場合がありますので、お住いの市町村へお問い合わせください。

Evacuation Information (Revised)

Scan to get this information in your own language.

English	简体中文	繁體中文	한국어	Español
Português	Tiếng Việt	ភាសាខ្មែរ	ภาษาไทย	සිංහල
Tagalog	Bahasa Indonesia	नेपाली भाषा	Монгол хэл	QR Translator

広報からのお知らせ
各行事等で広報に掲載するための取材及び写真撮影をさせていただきます。もし写真などで広報への掲載にご承諾いただけない場合は、その場でお申し出
いただくか広報統計担当までご連絡ください。
企画商工課広報統計担当 ☎56) 2124



■人口・世帯数 (7月末住民基本台帳登録数)

人口	男	女	世帯数				
1,227人 (1)	609人 (0)	618人 (1)	765 (1)				
《うち外国人の人数 149人 (-1)》							
中央	占冠	双珠別	トマム	出生	死亡	転入	転出
661人	87人	44人	435人	0人	0人	8人	8人

道産 木材材使用 CARBON OFFSET

広報しむかっぷは、震災復興型カーボンオフセット用紙を使用し、CO₂削減事業ならびに東北経済復興を応援しています。